

本格的なExcelマクロの差分分析ツールです！

Excel棚卸【単独 マクロ差分】ツール クイック評価マニュアル



2012/6/30
Version 1.010

Excel工房Yuzu

本書の目的は、Excel棚卸【単独 マクロ差分】の評価を短期に行うことを目的としたものです。本運用に当たっては、同・取扱説明書をご覧ください。

目次

1. Excel棚卸【単独 マクロ差分】の特徴
2. 評価の目的と評価の範囲
3. 動作環境について
4. 評価の順序
5. インストール
6. Excel棚卸【単独 マクロ差分】の機能および特徴の確認
7. アンインストール
8. 問い合わせ

お断り:

1. 本ツールにおいては、テキスト差分処理エンジンとしてNonSoftの[NonDiffVb6.dll](http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/TextDiffDsp/index.html)を使用しております。また、暗号化処理の[CryptMin.dll](http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/CryptMin/index.html)を使用しております。何れのDllもNonSofの著作物であり、再配布の許諾を得ております。

<http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/TextDiffDsp/index.html>

<http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/CryptMin/index.html>

2. また本ツールにおいては、VBA保護操作のライブラリとして[K窓](http://www2.aqua-r.tepm.jp/~kmado/)のkcommand.dllを使用しております。

<http://www2.aqua-r.tepm.jp/~kmado/>

1. Excel棚卸【単独 マクロ差分】の特徴

この度は、評価を行っていただき、有難うございます。

プログラムコードの新旧の差分分析ツールは、開発者にとって生産性の向上や品質確保の観点からなくてはならないものです。しかし、Excel VBA(Visual Basic For Application)には、発売以来20年も経ちますが、これといった差分分析ツールはありませんでした。精々、テキストに出力してテキスト差分ツールで分析するか、体力勝負の域でないもので我慢するしかありませんでした。

ここに、開発者の方々に十分使っていただける差分分析ツールを自信をもって提供できる運びとなりました

本Excel棚卸【単独 マクロ差分】は、以下の特徴を有するものです。

- ▶ **モジュール、プロセス単位に差分が取得できます**
- ▶ **実行コードのみの分析が可能で、コメントの影響を排除できます**
- ▶ **削除・追加・変更の表示が可能です。変更時は文字列の差分も表示できます**
- ▶ **アドインおよび、VB 6.0の差分分析も可能です**

2. 評価の目的と評価の範囲

▶ 評価の目的:

本、Excel棚卸【単独 マクロ差分】が有意義なものなのかどうかを短期間で評価する。
このため、評価の範囲は主要な部分に限っています。

▶ 評価の範囲

- ▶ 評価用のサンプル: 添付のサンプルを使用
- ▶ サンプルに基づく分析結果から、本ツールの特徴を理解する

3. 動作環境

▶ 実行環境(インストーラ、アドイン)と利用アカウント

OS \ Excel	Excel版数					インストールアカウント	
	2000	2002	2003	2007	2010	Admin ※4	Admin権限
Windows 2000	●	●	●	—	—	●	●
Windows XP	●	●	●	×※2	●※3	●	●
Windows Vista	●	●	●	×※2	●※3	●	
Windows 7	●	●	●	×※2	●※3	●	
備考	※2:VBAの互換性に問題があるため ※3:97-2003互換モードで実行					※4:「Administrator」のアカウント「参考」を参照	

▶ 差分分析対象の拡張子

	拡張子	備考
Excel VBA	.xls,.xla (Excel 2000-2003) .xlsm,xlam (Excel 2010)	・プロテクトは解除済みであること
VB 6.0	.bas,.cls,.frm	・VB 6.0 フォームには対応できていません ・Exportした特定のExcel VBAのモジュール

▶ 仮想OS環境の利用: 評価版では制限事項としております

4. 評価の順序

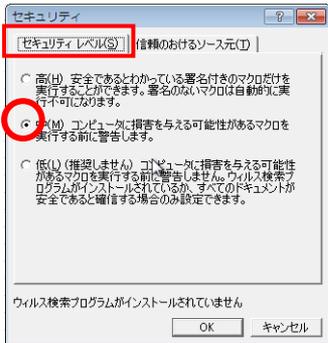
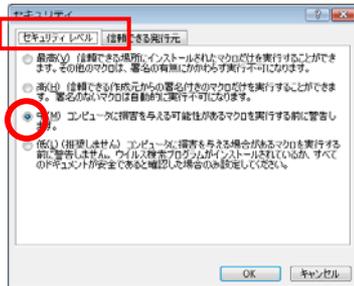
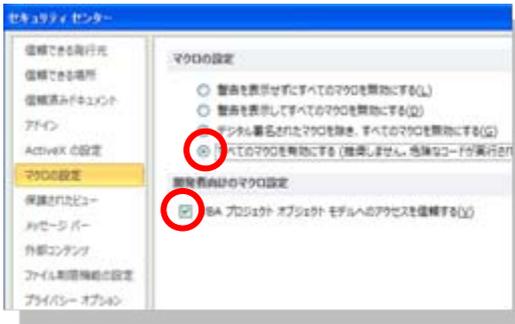
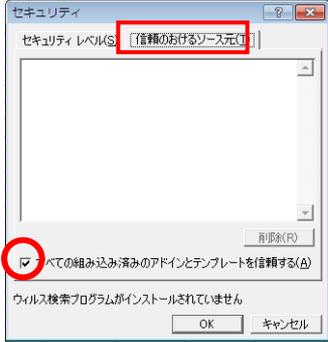
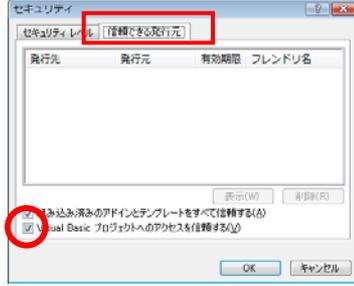
概ね、一時間位の時間を要します。



5. インストール

5.1 Excelのマクロのセキュリティレベルの設定

本品はExcelのVBA(マクロ)で動作するため、使用に当たってはマクロのセキュリティレベルの変更が必要です

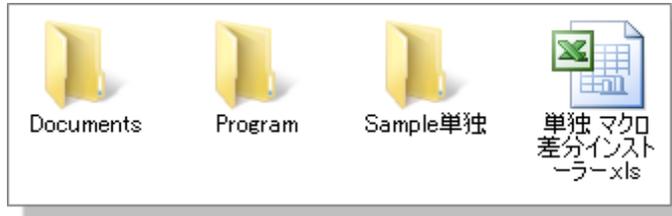
Excel版数	Excel 2000	Excel 2002,2003	Excel 2010
起動	[ツール]→[マクロ]→[セキュリティ]で設定後に再起動		[Excelオプション]→[セキュリティセンタ]で設定後に再起動
設定内容	 <p>セキュリティ</p> <p>セキュリティレベル [情報] のおけるソース元 [D]</p> <p><input type="radio"/> 高 (H) 安全であるとわかっている署名付きのマクロだけを実行することができます。署名のないマクロは自動的に実行不可になります。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 中 (M) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告します。</p> <p><input type="radio"/> 低 (L) (推奨しません) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告しません。ウイルス検査プログラムがインストールされているか、すべてのドキュメントが安全であると確認する場合のみ設定できます。</p> <p>ウイルス検査プログラムがインストールされていません</p> <p>OK キャンセル</p>	 <p>セキュリティ</p> <p>セキュリティレベル [情報] のおける実行元</p> <p><input type="radio"/> 最高 (H) (推奨できません) インストールされたマクロだけを実行することができます。その他のものは、署名の有無にかかわらず実行不可になります。</p> <p><input type="radio"/> 高 (H) 信頼できる作成元からの署名付きのマクロを実行することができます。署名のないマクロは自動的に実行不可になります。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 中 (M) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告します。</p> <p><input type="radio"/> 低 (L) (推奨しません) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告しません。ウイルス検査プログラムがインストールされているか、すべてのドキュメントが安全であると確認した場合のみ設定してください。</p> <p>OK キャンセル</p>	 <p>セキュリティ センター</p> <p>信頼できる実行元</p> <p>信頼できる場所</p> <p>信頼済みドキュメント</p> <p>アドイン</p> <p>ActiveX の設定</p> <p>マクロの設定</p> <p>保護されたビュー</p> <p>おぼえ</p> <p>外部コンテンツ</p> <p>ファイル制御機能の設定</p> <p>プライバシー オプション</p> <p>マクロの設定</p> <p><input type="radio"/> 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)</p> <p><input type="radio"/> 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(M)</p> <p><input type="radio"/> シンタックスエラーのないマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(H)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 信頼できるインターネットからのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)</p> <p>無効なマクロのセキュリティ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> VBA プロジェクト オプション モデルへのアクセスを信頼する(O)</p>
	 <p>セキュリティ</p> <p>セキュリティレベル [情報] のおけるソース元 [D]</p> <p><input type="checkbox"/> 高 (H) 安全であるとわかっている署名付きのマクロだけを実行することができます。署名のないマクロは自動的に実行不可になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中 (M) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告します。</p> <p><input type="checkbox"/> 低 (L) (推奨しません) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告しません。ウイルス検査プログラムがインストールされているか、すべてのドキュメントが安全であると確認する場合のみ設定できます。</p> <p>ウイルス検査プログラムがインストールされていません</p> <p>OK キャンセル</p>	 <p>セキュリティ</p> <p>セキュリティレベル [情報] のおける実行元</p> <p>実行元</p> <p>有効期間</p> <p>フレンドリ名</p> <p>表示 (W)</p> <p>削除 (R)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 組み込み済みおよびダウンロードされたすべてのマクロを信頼する(O)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Visual Basic プロジェクトへのアクセスを信頼する(O)</p> <p>OK キャンセル</p>	

注意: Windows Vista, 7 の場合のインストールアカウントについては「参考」を参照してください

5. インストール《続き》

5.2 ダウンロードと解凍

《解凍後のコンテンツ一覧》



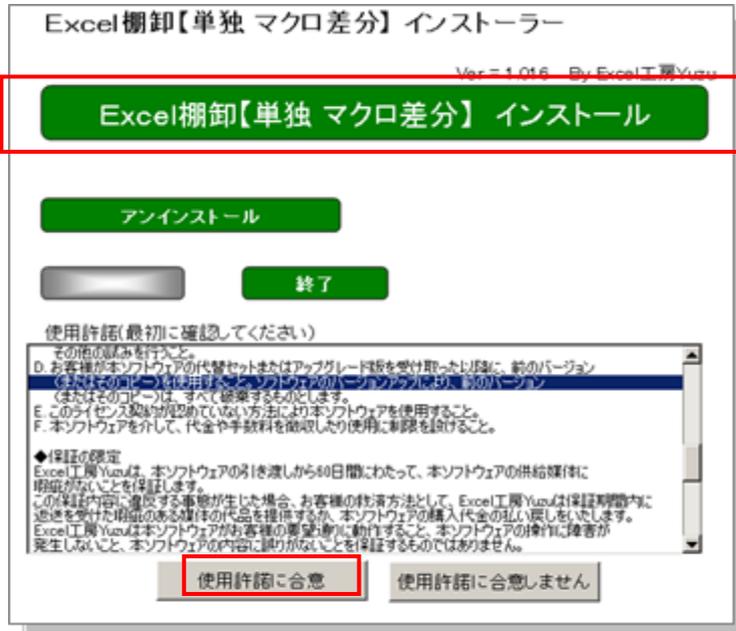
- ・Documents: 本評価マニュアルを含むドキュメント類
- ・Program: インストーラによってインストールされるモジュール
- ・Sample単独: 本評価で使用するSampleデータ
- ・インストーラ: アンインストール機能をも持ちます

尚、インストールには別途ライセンスキーが必要となります。
評価版のライセンスキーは「1」です。一ヶ月間、ご利用になれます。

5. インストール 《続き》

5.3 Excel棚卸【単独 マクロ差分】のインストール

- ①ダウンロード、解凍したフォルダをローカル環境にコピーしてください。
- ②解凍したフォルダに棚卸【単独 マクロ差分】インストーラ.xls を起動してください。以下の設定画面が表示されます
- ③使用許諾を確認後に、『棚卸【単独 マクロ差分】アドインインストール』ボタンを押下
- ④ライセンスキー入力画面にて、評価キーの“1”を入力。インストール後、30日間有効なキーです。
- ⑤ログ保存フォルダを設置します。デスクトップ等に“Logetc”等のフォルダを作成します。
- ⑥正しくインストールが終了すれば、完了メッセージが出力されますので、インストーラを閉じてください。

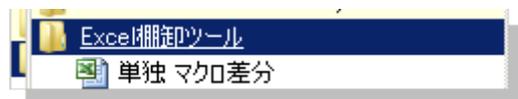


注意: **Windows Vista,7**にてご利用の場合は、Administratorアカウントでしてください。Administratorアカウントを表示する方法については、本マニュアルの末尾の参考を参照して下さい。

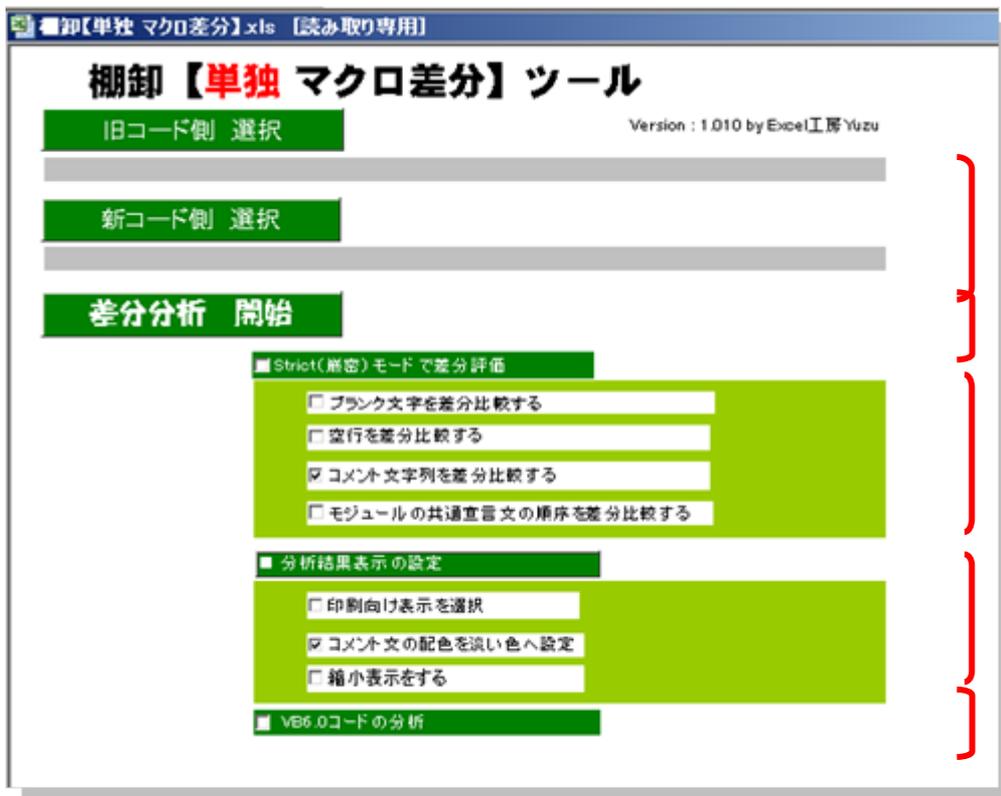
6. Excel棚卸【単独 マクロ差分】の機能および特徴の確認

6.1 Excel棚卸【単独 マクロ差分】の起動

①スタートメニューから「単独 マクロ差分」を起動



初期画面



新・旧分析対象の選択

分析開始

分析条件の設定

表示条件の設定

Excel VBA/VB6.0の選択

《差分分析における制限事項》

以下に制限事項を示します

	制限項目	説明
1	分析対象のパスワード保護の解除	Read/Write保護、およびVBA保護は事前に解除済みであること。また共有保護はVBAコードへのアクセスエラーとなりますので、未設定のこと
2	プリンタの未搭載環境	分析結果レポートの印刷設定は行っておりません
3	最大分析コード数	最大10万行
4	最大モジュール数	最大250モジュール
5	最大プロセス数	最大1万プロセス
6	最大差分コード量／モジュール	最大1万行
7	シンタックスエラー	構文エラーは除去済みであること。誤動作の原因となります。

6. Excel棚卸【単独 マクロ差分】の機能および特徴の確認 《続き》

6.2 Excel VBAコードの分析: 条件の設定

棚卸【単独 マクロ差分】ツール
Version : 1.010 by Excel工房Yuzu

旧コード側 選択

新コード側 選択

差分分析 開始

■ Strict(厳密)モードで差分評価

- 空白文字を差分比較する
- 空行を差分比較する
- コメント文字列を差分比較する
- モジュールの共通宣言文の順序を差分比較する

■ 分析結果表示の設定

- 印刷向け表示を選択
- コメント文の配色を淡い色へ設定
- 縮小表示をする

■ VB 6.0コードの分析

②旧コード側のExcelファイルを選択

③新コード側のExcelファイルを選択

⑤分析の開始

④分析条件の設定(任意)

⑤表示条件の設定(任意)

①「VB 6.0」選択をオフに設定

《分析条件の設定の説明》

Strict(厳密)モードで差分評価

ブランク文字を差分比較する

空行を差分比較する

コメント文字列を差分比較する

プロセス及び共通宣言文の順序を差分比較する

条件選択	説明
Strict(厳密)モードで差分評価	本選択を行うと、以下の選択が全て有効(オン)になります。厳密な差分をみることができます
ブランク文字を差分比較する	コードを読みやすくするためTAB等によるインデントをおこないますが、オフにすると、インデントの影響を除外することで、実行コードだけの差分分析を可能とします。特に機能追加によるIf文のネストが深くなる時に便利です。
空行を差分比較する	コードを読みやすくするため、空行をいれませんが、オフにすると、空行の影響を除外することで、実行コードだけの差分分析を可能とします。
コメント文字列を差分比較する	コメントもコードの保守のためには必須です。コードの完成に近づくにつれ、コメントも強化されます。オフにすると、コメントの影響を除外することで、実行コードだけの差分分析を可能とします。デフォルト値はオンです。
プロセス及び共通宣言文の順序を差分比較する	プロセス及び共通宣言文は順序性が無いため、開発途上においては、その都度適当な場所に追加しますが、コードの完成に近づくにつれ記述順を再整理をおこないます。オフにすると、記述場所の違いを差分と認識しません。

《表示条件の設定の説明》

■ 分析結果表示の設定

- 印刷向け表示を選択
- コメント文の配色を淡い色へ設定
- 縮小表示をする

条件選択	説明
印刷向け表示を選択	 <p>オフの状態では、差分のある箇所の背景色が設定され、差分箇所を見つけ易くなります。オンの状態では、背景色は抑止され、トナーの消費を抑制できます。</p>
コメント文の配色を淡い色へ設定	 <p>のように、選択するとコメント部分は淡い青になり、コメントとコードを明確に区別できます</p>
縮小表示をする	 <p>のように、差分がなかった場合には、縮小表示されます。差分があった場合には縮小は行われません。</p>

6.3 Excel VBAコードの分析: 実行結果

《モジュール・プロセスの一覧の表示》

モジュール・プロセスの一覧

ID	モジュール名 (WS:緑 FM:水 SM:紫 CL:黄)	プロセス名 (Bold:Sub)	相違	コンテンツの有無		コード量
				比較・旧	比較・新	
8		X1	有	○	○	37
9		X2	有	○	○	36
10		X2	有	○	○	
11		X3	有	○	○	
12	a			●	○	
13		test1		○	○	
14	Class1			●	○	
15	Class2			●	○	

特徴1: モジュールとプロセスの一覧と差分プロセスの識別

特徴3: 全体コード量の表示

特徴6: ハイパーリンクの設定

特徴2: モジュールの区分を表示

- ・ブック、シート: 薄緑色
- ・フォーム: 水色
- ・標準: 薄紫色
- ・クラス: 黄色

特徴5: プロセスの種類を表示

- ・Sub関数は太字
- ・Function関数は標準

特徴4: プロセスの有無の表示

- : モジュール定義有
- : プロセス定義有

《コード差分表示》

モジュール・プロセスの一覧

ID	モジュール名 (WS:緑 FM:水 SM:紫 CL:黄)	プロセス名 (Bold:Sub)	内容の有無	比較:旧	比較:新
8		X1	有	○	○
9		X2	有	○	○
10		X2	有	○	○
11		X3	有	○	○
12	a		有	●	●
13		test1	有	●	●
14	Class1		有	●	●
15	Class2		有	●	●

特徴7: 差分のあるプロセスのみのコード表示

コード差分表示 (非印刷モード)

比較:旧	比較:新Code
Option Explicit	Option Explicit
Public a! As String 'a	Public a As String '新しいコメント ~~~~~長いコメントです
Public b! As String 'b	Public b As String '新しいコメント ~~~~~長いコメントです
Public c As String 'c	Public c As String 'c ~~~~~長いコメントです
Public d As String 'd	Public d As String 'd
Public e As String 'e	Public e As String 'e
Public f As String 'f	Public f As String 'f
Comment1	Comment1
Comment2	Comment1
Comment3	Comment1
Comment4	Comment4
Sub X1 (& As String) 'X1	Sub X1 (& As String, wb As Workbook) '新しい
Dim xpl As String	Dim xpl As String
End Sub	End Sub

特徴8: 文字列の差分は赤字で表示

特徴9: 差分の無い行は縮小表示が可能

特徴10: コメントは淡青で表示が可能

差分区分表示:

変更: 薄橙色

削除: 鶯色

追加: 青緑

変更無: 白

特徴11: 変更箇所が見つけやすい表示色
印刷モードでは背景色無

《スペースの評価抑止による、追加ロジックの解析》

Sample: ¥If_Nest¥Nest_if_1.xls, Nest_if_1.xls

比較・旧		E¥■■■■ 棚卸シリーズ¥棚卸【単独 マクロ差分】¥VBATest¥If_Nest¥Nest If 1.xls		コード量	
比較・新		E¥■■■■ 棚卸シリーズ¥棚卸【単独 マクロ差分】¥VBATest¥If_Nest¥Nest If 3.xls		15	
1	ThisWorkbook			●	●
2	Sheet1			●	●
3	Module1			●	●
4		Test		○	○

スペースを評価

スペースを評価を抑止

戻る		Module1 (標準モジュール)
ID	比較・旧Code	比較・新Code
1	Sub Test()	Sub Test()
2	Dim a As Long	Dim a As Long
3	Dim b As Long	Dim b As Long
4		Dim C As Long
5	a = 11	a = 11
6	b = 10	b = 10
7	If a >= b Then	C = 12
8	MsgBox "a>=b"	If C > a Then
9		If a >= b Then
10		MsgBox "a>=b"
11		End If
12	End If	End If
13	End Sub	End Sub

Module1 (標準モジュール)	
ID	比較・新Code
7	C = 12
8	If C > a Then
9	If a >= b Then
10	MsgBox "a>=b"
11	End If
12	End If
13	End Sub

特徴12: Tabによるインデントの影響を回避追加ロジックを判別

《関数の順序の補正、引数の追加、コメント評価》

完成にしたがって、関数の保存位置、引数の追加、コメントの強化が行われます。

Sample: ¥Test引数¥ Old.xls

```
Option Explicit
Function Test2() As String
End Function

Sub Test1(a As String) '当初、引数はひとつ
Dim x As Long
End Sub
```

¥Test引数¥ New.xls

```
Option Explicit
Sub Test1(a As String, wb As Workbook) '引数を追加
Dim x As Long
With wb.Worksheets("") ※2
End With
End Sub

'Comment1
'Comment2
Function Test2() As String ※3
End Function

'End Comment3
'End Comment4
```

- ※1 関数の順序が逆転
- ※2 引数、処理の追加
- ※3 コメントの追加・修正

コメントを差分分析

ID	比較・旧Code	比較・新Code
1	Sub Test1(a As String) '当初、引数はひとつ	Sub Test1(a As String, wb As Workbook) '引数を追加
2	Dim x As Long	Dim x As Long
3		With wb.Worksheets("")
4		End With
5	End Sub	End Sub
6		Comment 1
7		Comment 2
8	Function Test2() As String	Function Test2() As String
9	End Function	End Function
10		End Comment 3
11		End Comment 4

特徴13: プロセスの順序を補正
削除 & 追加とならない

特徴14: 引数の追加に対応(変更の扱い)

特徴15: コードのみの評価で、より差分情報の絞込みが可能

コードのみ差分分析

ID	比較・旧Code	比較・新Code
1	Sub Test1(a As String)	Sub Test1(a As String, wb As Workbook)
2	Dim x As Long	Dim x As Long
3		With wb.Worksheets("")
4		End With
5	End Sub	End Sub

《宣言文の整理》

完成にしたがって、無造作に定義されていた共通宣言文の整理が行われます。

Sample: ¥ Declare文¥Old.xls

```
Option Explicit
'無造作に宣言文を配置
Public Const x = "xxx"
Public a As Variant

Public c As Variant _
, c1 As String
Public b As Variant 'Old
Public y As Variant 'Old

Sub test()

End Sub
```

Sample: ¥ Declare文¥New.xls

```
Option Explicit
'宣言文を整理しました
Public y As Variant, _
yy As String 'add yy
Public a As Variant

Public b As Variant, _
b1 As Variant 'New
Public c As Variant
Public d As Variant 'Add
Public Const x = "xxx" 'New

Sub test()

End Sub
```

記述場所の変更

単純なテキスト差分で分析した場合

ID	比較-旧Code	比較-新Code
1	Option Explicit	Option Explicit
2	無造作に宣言文を配置	宣言文を整理しました
3	Public Const x = "xxx"	Public y As Variant, _
4		yy As String 'add yy
5	Public a As Variant '	Public a As Variant '
6	Public c As Variant _	Public b As Variant, _
7	, c1 As String	b1 As Variant 'New
8	Public b As Variant 'Old	Public c As Variant
9	Public y As Variant 'Old	Public d As Variant 'Add
10		Public Const x = "xxx" 'New

特徴16: 宣言文の順序を補正して分析できます

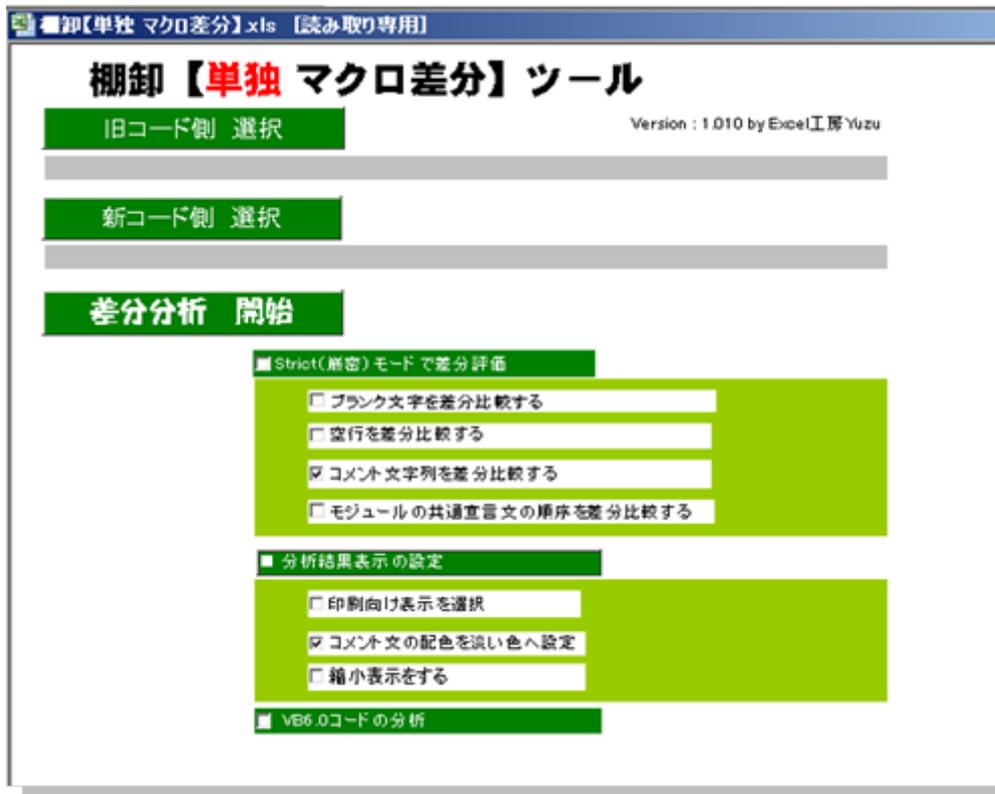
モジュールの共通宣言文の順序を補正した場合

ID	比較-旧Code	比較-新Code
1	Option Explicit	Option Explicit
2	無造作に宣言文を配置	宣言文を整理しました
3	Public y As Variant 'Old	Public y As Variant, yy As String 'add yy
4	Public a As Variant '	Public a As Variant '
5	Public b As Variant 'Old	Public b As Variant, b1 As Variant 'New
6	Public c As Variant, c1 As String	Public c As Variant
7		Public d As Variant 'Add
8	Public Const x = "xxx"	Public Const x = "xxx" 'New

全く別々のコードと判定

6. 4 Excel Addinコードの分析: 実行結果

旧コード、新コード側において拡張子が“xla”のファイルの選択してください。
動作および特徴は、6. 3項記載の内容に同じです。



Excel Addin【単独 マクロ差分】.xls [読み取り専用]

棚卸【単独 マクロ差分】ツール

Version : 1.010 by Excel工房Yuzu

旧コード側 選択

新コード側 選択

差分分析 開始

- Strict(厳密)モードで差分評価
 - ブランク文字を差分比較する
 - 空行を差分比較する
 - コメント文字列を差分比較する
 - モジュールの共通宣言文の順序を差分比較する
- 分析結果表示の設定
 - 印刷向け表示を選択
 - コメント文の配色を淡い色へ設定
 - 縮小表示をする
- VBEコードの分析

6.5 VB 6.0 またはExportされたVBAコードの分析: 実行結果

旧コード、新コード側において分析コードが保存されたフォルダを選択してください。
動作および特徴は、6.3項記載の内容に同じです。

棚卸【**単独** マクロ差分】ツール
Version : 1.010 by Excel工房Yuzu

旧コード側 選択

新コード側 選択

差分分析 開始

■ Strict (厳密) モードで差分評価

- ブランク文字を差分比較する
- 空行を差分比較する
- コメント文字列を差分比較する
- モジュールの共通宣言文の順序を差分比較する

■ 分析結果表示の設定

- 印刷向け表示を選択
- コメント文の配色を淡い色へ設定
- 縮小表示をする

VB6.0 またはExportされたVBAコードの分析

起動確認メッセージ

単独 マクロ差分分析

本処理は、ExcelのVBAマクロの差分を分析します。ただし、

- ・コンパイルエラーは取り除かれていること
- ・分析の対象拡張子は[xls]もしくは[xla]であること
- ・Read/Write保護およびマクロ保護は解除されていること

OK キャンセル

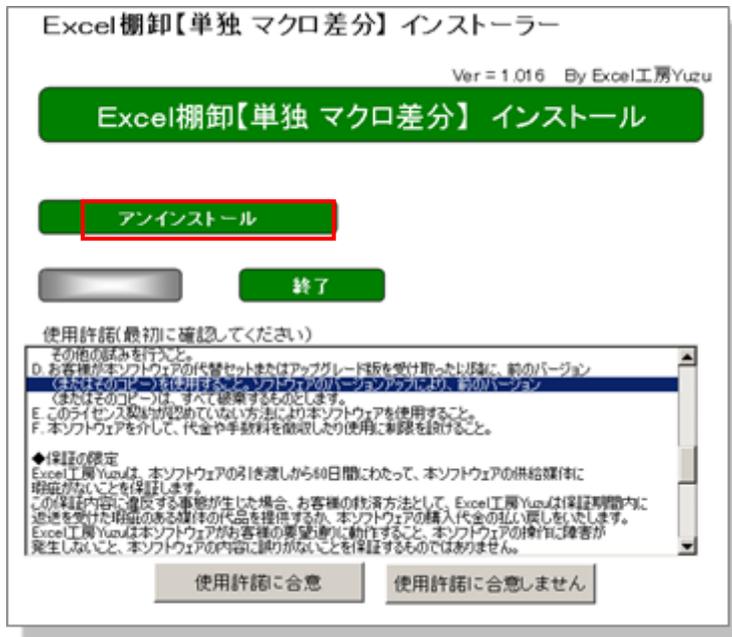
特徴17: 特定のVBAモジュールのみを分析したい場合に便利です

チェックを入れてください

7. アンインストール

評価が完了しましたら、アドインのアンインストールを実行してください。

なお、評価期間が満了した場合、アドインは無効に設定されます。アンインストールは別途行ってください。



注意: **Windows Vista,7**にてご利用の場合は、Administratorアカウントでしてください。Administratorアカウントを表示する方法については、本マニュアルの末尾の参考を参照して下さい。

8. 問い合わせ 専用のサポートサイト <http://yuzu-miso.sakura.ne.jp> <サポート>

評価版パッケージに関して、『操作マニュアル』記載事項の不備等に関する購入前の問い合わせを行うことが可能です。

なお、

1. 問い合わせに際して、予め別冊の『操作マニュアル』を参照ください。
2. 評価版の品質等に関する対応は行っておりません。

クレームフォーム/ライセンスキー更新

1. 対象の製品を選択してください。
2. ご利用中のライセンスキーを記入してください。
3. 以下のフォームより、必要事項(*)は必須)を入力の上送信してください。

お名前(*)	<input type="text"/>
メールアドレス(*)	<input type="text"/> (確認用)
対象商品(*)	<input type="text" value="様印【単独 マクロ差分】"/>
ライセンスキー(*)	<input type="text"/>
タイトル(*)	<input type="text"/>
内容(*)	<input type="text"/>
添付ファイル (不具合画面 のキャプチャ用)	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="text"/> <input type="button" value="参照"/>

左記、フォームページの問い合わせフォームにてお願いします。

評価版のライセンスキー="1"を指定してください。

《参考》

Windows Vista ,7の場合のAdministratorアカウントの表示

Windows 2000,XPでは本設定は不要です。

本OSの場合、インストールは“Administrator”のアカウントで行う必要があります。
ただし、デフォルトではAdministratorのアカウントは「ようこそ」画面に表示されていません。
管理者権限のあるアカウントにて、Administratorアカウントのプロパティを以下のように設定してください。
「ようこそ」画面に”Administrator”アカウントが表示されます。

- ①管理者権限のあるアカウントでログイン
- ②[コンピュータ]右クリック、[管理]を選択
- ③[ローカルユーザとグループ]・[ユーザ]・[Administrator]・[プロパティ]を選択
- ④「アカウントを、無効にする」のチェックを外す

